

和歌山工業高等学校

実施日時	平成30年 8月 1日(水)
参加者	生徒約370名 計約370名
実施内容	下記詳細参照

8:45~8:50	【各ホームルーム教室】SHR			
9:00 ~ 10:00	【体育館】講演「災害に備えるために高校生が意識しておくこと」(全員) 京都大学 防災研究所 助教 後藤浩之氏			
10:10 ~ 10:40	【体育館】「NTT 伝言ダイヤル171」操作方法講習会(全員) 協力:NTT和歌山支社 終了後			
	A甲・A乙・J	E甲・E乙	F甲・F乙	G・K・L
11:00 ~ 11:35	【正門駐車場】 地震体験 【本館2F】 免震層見学	【HR教室】 ロープワーク体験 (自衛隊)	【大会議室】 紀伊半島大水害 (DVD)	【多目的ホール】 救急AED使用方法 (DVD)
11:35 ~ 11:50	【各ホームルーム教室】アンケート			

事前の取組

全クラスに「3.11岩手大津波の記録」(釜石の奇跡)DVDを鑑賞させ、避難訓練の重要性を伝えた。

主なプログラム

※上記参照

参加者感想文

「3.11岩手大津波の記録」(事前学習)感想文
・もし、津波が襲ってきたら私はすぐに自分自身の判断で逃げられるかわからないと映像を見て思った。だから、普段の避難訓練も真剣にしないといけないと思った。自分の命を守る大切な訓練だと改めて感じた。

- ・中学生という年頃なのに、小学生の手を引いて避難している姿は、立派な行動をとってすごいと思った。想定にとられないことはものすごく大切だと思った。
- ・自然災害は、避けたくても避けることが出来ない。私たちは、防災訓練をしっかりと真剣に取り組むことが、助かる方法だと思った。

防災スクール当日感想文

- ・災害用伝言掲示板web171の実用性がわかりました。家族にも教えて、実際に使えるようにしたいと思った。地震体験車は、すごく怖かったです。
- ・自衛隊の方が、現場にて使用するロープの結び方を知ることができた。すごく勉強になりました。また、緊急時の応急担架の作り方も簡単に

できたのでびっくりしました。

- 後藤先生の講演を聞いて、地震や津波に対して日頃から避難場所などを確認しておくことが大事だと思った。心臓マッサージの仕方や人工呼吸の仕方など、とても分かりやすく勉強になりました。

成果と課題

全1年生を対象に防災意識を高めてもらうため、7月上旬に「3.11岩手大津波の記録」(釜石の奇跡)をクラス単位で個別に鑑賞しました。この事前学習により、避難訓練を真剣に取り組むことや想定にとられない判断など、防災に対する意識が高くなったと感想文から推察されました。

防災スクール当日のはじめは、京都大学防災研究所後藤浩之氏による講演が行われました。非常に分かりやすい内容であり、未然に防ぐことの出来ない自然災害が起きたときの正しい判断が重要だと理解してもらえたと感じました。その後、4カ所のブースに分かれて様々な災害に関わる体験を行いました。どの生徒も積極的な姿勢で取り組んでおり、最後のアンケートの感想文には「知らないことを知ることが出来た」・「防災に対して意識が変わった」との感想が書かれていました。防災に対する意識を高めることが出来たと思っています。

今後は、避難訓練や防災教育の回数を可能な限り増やし、防災スクールで高まった意識を継続、そして家族・友人など色々な人に伝達してけるようにすることが課題であると考えています。



講演「災害に備えるために高校生が意識しておくこと」
京都大学 防災研究所 助教 後藤浩之氏



講習「NTT 伝言ダイヤル171」
NTT和歌山支社



地震体験車



ロープワーク体験①



ロープワーク体験②